

ニーファイは まず、どうぐを つくりました。
 その後、船を つくりはじめました。ニーファイ
 の お兄さんである レーマンと レムエル
 は、もんくを 言いました。ニーファイに 船
 が 作れるとは、しんじなかつたのです。

ニーファイは、
 かぞくは 天の
 お父さまを しん
 らいすることが
 できると 知って
 いました。



船が かんせいしたとき、ニーファイの かぞくは、海を わたりはじめました。
 ある日、レーマンと レムエルは ニーファイに はらを たてて、ニーファイを
 ひもで しばってしまいました。大きな あらしが
 おこり、船は 風で ふきもどされました。
 お兄さんたちは、くいあらためたので、
 ニーファイは あんぜんに 船を もとの
 こうろに もどすことが できました。

